

(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	3220	3.利用用途別分類	スポーツ施設							
2.施設名	宮崎市内山体育館	4.利用圏域別分類	地域							
5.所在地(町名・番地)	高岡町内山966番地	15.設置根拠法令	スポーツ基本法							
6.バス停	内山(高岡)(80m)	16.設置条例	宮崎市立体育館条例							
7.開設年月日	昭和53年3月1日	17.市の計画	時期の決定した廃止の方針がある							
8.施設運営形態(指定管理者)	直営	18. 外観								
9.指定管理期間										
10.用途地域	その他									
11.財産区分	公共用									
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	地域住民の体力の向上とスポーツレクリエーションの普及振興をはかるため、住民の要望により、穆佐地区体育館の次に設立された。しかし、現在では、利用者が少なく、年間使用料も9万円台である。標高は、26.9mで、山の斜面に位置するため、災害時、土砂崩れにあう恐れもある。			19. 内部						
13.主な利用者	地区住民、スポーツ団体、スポーツ愛好者	20.避難所の指定(標高)	26.90 m							
14.利用者駐車可能台数	4台	21.投票所の指定	無							
22. 土地情報	土地面積	2,015.54 m ²				24. 建物情報	総延床面積	652.60 m ²		
	現況地目	宅地					取得価額計(開始時簿価計)	48200千円 (一)		
	土地所有形態	所有		階数・構造(主たる建物)	S・鉄骨					
	借受面積	0.00 m ²		建築年(主たる建物)	1978年					
23. 利用情報	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度		法定点検(主たる建物)	未対象			
		人・食	前年比%	人・食	前年比%	建物所有状況	市有物件			
	利用者数	2,310	103.0	2,242	-	借受面積	0.00 m ²			
	開館日数	308	100.3	307	-	耐震対応(主たる建物)	未対応			
利用率	8	114.3	7	-	未利用スペース	0 m ²				
25. 収入	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度		(区分・単位)	平成29年度		平成28年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	96	120.0	80	-	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	1,591	77.0	2,066	-
	使用料(減免後)②	96	121.5	79	-	施設のコスト	841	63.9	1,316	-
	その他③	0	0.0	1	-	事業のコスト	0	-	0	-
	《参考》 使用料減免額④	0	0.0	1	-	人に係るコスト	750	100.0	750	-
	指定管理者の収入計⑤	0	-	0	-	指定管理者の支出計⑨	0	-	0	-
	指定管理料⑥	0	-	0	-	施設のコスト	0	-	0	-
	利用料金収入	0	-	0	-	自主事業以外のコスト	0	-	0	-
	自主事業収入	0	-	0	-	自主事業のコスト	0	-	0	-
その他収入	0	-	0	-	人に係るコスト	0	-	0	-	
収入合計⑦	96	120.0	80	-	支出合計⑩	1,591	77.0	2,066	-	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	0	0.0	1	-	28.工事請負費・修繕費	12	3.3	366	-	
29.施設経営における実質的な 収入(⑦-⑥)	96	120.0	80	-	31. 市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	1,495	75.3	1,986	-	
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	0	-	0	-	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	94	97.8	96	-	
32.施設所管課	スポーツランド推進課			33.施設主管課	スポーツランド推進課					

(2)施設評価シート

1.台帳番号	3220	3.利用用途別分類	スポーツ施設			
2.施設名	宮崎市内山体育館	4.利用圏域別分類	地域			
5.基礎評価						
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		D			
	品質評価の評価(偏差値)		21.6			
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		46.3			
① 品質評価	① 築年数(棟平均)の評価がかなり低い。 劣化度点数(棟平均)の評価がきわめて低い。 耐震対応(棟平均)の評価がきわめて低い。 バリアフリー未対応(棟平均)の評価がきわめて低い。	指標の結果	評価指標	平成29年度	偏差値	平均
			築年数(棟平均)	39.000 年	39.7	26.600 年
			劣化度点数(棟平均)	10.000 件	9.5	1.900 件
			耐震対応(棟平均)	1.000 点	△ 11.0	4.700 点
			クレーム点数	5.000 点	56.6	4.300 点
			バリアフリー未対応(棟平均)	6.000 件	13.1	0.800 件
		評価値	21.6			
② 供給評価	② 利用率の評価がかなり低い。 稼働率(コマ利用・定員充足)の評価がかなり低い。 床面積1㎡当たりの利用率の評価がかなり低い。 市負担額千円当たりの利用量の評価が低い。	指標の結果	評価指標	平成29年度	偏差値	平均
			日あたり利用者数	8.000 人	38.4	77.000 人
			稼働率	15.800 %	34.3	44.300 %
			建物1㎡当たりの利用率	0.011 人	33.2	0.055 人
			建物1㎡当たりの利用率			
			土地1㎡当たりの利用率			
		市負担額千円当たりの利用量	1.545	41.9	3.047	
		評価値	37.0			
③ 財務評価	③ 利用率当たりの市負担額の評価が低い。	指標の結果	評価指標	平成29年度	偏差値	平均
			市負担割合	93.970 %	54.8	119.619 %
			市負担額(ソフト)前年度比	91.500 %	57.9	140.724 %
			建物1㎡当たりの市負担額	2.291 千円	62.6	7.518 千円
			土地1㎡当たりの市負担額			
			利用率当たりの市負担額	0.647 千円	47.1	0.518 千円
		評価値	55.6			
品質評価の分布図			供給評価・財務評価の分布図			
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)			供給評価(横) / 財務評価(縦)			

(2) 施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	3220	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市内山体育館	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析 (総括)	施設建設から39年経過し老朽化が進んでいるため、随時修繕工事等を行っている。利用者は地域住民が多く、利用時間帯が特定されているため、稼働率が低く収入も少ない。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	【評価指標】築年数【原因】施設建設後39年経過している。 【評価指標】築劣化度数【原因】老朽化が進んでおり、基礎・外内壁・窓ガラス等にひびがあり、雨漏りや水漏れが見られる。 【評価指標】耐震対応【原因】施設存続を検討中であるため、耐震補強は未実施である。 【評価指標】バリアフリー未対応【原因】スロープ等のバリアフリー対応がなされていない。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】①利用率②稼働率【原因】①②新規利用者がやや増えているが、主な利用者は地域住民が多いことや、利用時間帯が特定されているため。 【評価指標】③床面積1㎡当たりの利用率④市負担額千円当たりの利用量【原因】③④利用率が低く、使用料収入が少ないにもかかわらず、修繕費、光熱水費、施設管理委託料等の維持管理費がかかるため。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】利用量当たりの市負担額【原因】利用率が低く、使用料収入が少ないにもかかわらず、修繕費、光熱水費、施設管理委託料等の維持管理費がかかるため。	
5	定性的な要素の分 析(総括)	施設規模には差があるが、同じ利用用途の施設は点在している。	
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	内山運動広場、内山農村研修センター、高岡消防団第3分団第2部消防団車庫、内山団地、柳団地	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	天ヶ城体育館(スポーツ施設)、高岡トレーニングセンター、錬士館(錬士館道場)、東高岡体育館、穆佐体育館、サンスポーツランド高岡	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同 じ)施設の有無。有 の場合は施設名	なし	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし(※隣接する土地が「急傾斜地崩壊危険区域」と「土砂災害警戒区域」に指定されている。)	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	県道358号線新田交差点を西進し、100m先を右折した先にある。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】399,565人(平成29年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(平成57年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(高岡) 【現在の人口】11,254人(平成29年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業 費(概算))	【建て替えの時期】2020年代 【建て替えの事業費(概算)】1.9億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自 治体との比較など)	なし	

(2) 施設評価シート

平成30年度施設評価		平成30年度
台帳番号	3220	利用用途別分類 スポーツ施設
施設名	宮崎市内山体育館	利用圏域別分類 地域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価の(案)は「処分」、機能の評価(案)は「廃止」とする。
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	処分(廃止)
16	建物の評価(案)の理由	築年数が39年経過しており、老朽化が進んでいることや、施設一帯が急傾斜地崩壊危険区域及び土砂災害警戒区域にし指定されていること、また、近隣に体育館機能を備えた高岡交流プラザが開設されていることや利用者数が少ないことを勧告し、廃止とする。
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外 のとき	なし
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	廃止
19	機能の評価(案)の理由	利用率の低迷や、近隣に体育館機能を備えた高岡交流プラザが開設されていることもあり、廃止とする。
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取り組み(案) ※18が「廃止」以外 のとき	なし
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」と「質の向上」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし
24	アンケート(施設利用者)	意見なし

(2) 施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	3220	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市内山体育館	利用圏域別分類	地域
26	総合評価(総括)	建物の評価のは「処分」、機能の評価は「廃止」とする。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	処分(廃止)	
28	建物の評価の理由	築年数が39年経過しており、老朽化が進んでいることや、施設一帯が急傾斜地崩壊危険区域及び土砂災害警戒区域にし指定されていること、また、近隣に体育館機能を備えた高岡交流プラザが開設されていることや利用者数が少ないことを勧告し、廃止とする。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※27が「処分」以外のとき	なし	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	廃止	
31	機能の評価の理由	利用率の低迷や、近隣に体育館機能を備えた高岡交流プラザが開設されていることもあり、廃止とする。	
32	将来の市負担額(ソフト)を削除する具体的な取組み ※30が「廃止」以外のとき	なし	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」と「質の向上」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	